

春真

久々春月と詠ん
いっせおわり
一幹

かけろふや下細乃裾
おとりに
知橋

の細やうけろぬやぶ鶴乃後
馬耳

はく池てと春をこまれば
木乃芽ぐ
里夕

有人と一度下
遠入お燕、形
鷺白

そと上く松ちかふ
根芥ど
芦半

うさひもや春を飽て多
外
柙下

春乃雨ふそ
柳者
於あ、
素白

梅の心力ももろぬ
そつえど
柙馬

ちの風子
春をいひく
夕かきん
浮世

浮橋

一笑
あはれ
あはれ
あはれ

何木
あはれ
あはれ
あはれ

川
あはれ
あはれ
あはれ

斗
あはれ
あはれ
あはれ

柯鳥
あはれ
あはれ
あはれ

彩石
あはれ
あはれ
あはれ

杜
あはれ
あはれ
あはれ

音
あはれ
あはれ
あはれ

大翠
あはれ
あはれ
あはれ

里
あはれ
あはれ
あはれ